

<アイデア部門用>

5 空き家の概要

所在地	魚津市文化町		
物件概要	敷地面積	115.59 m <sup>2</sup>	
	利活用時床面積	1階 93.27 m <sup>2</sup> 2階 67.58 m <sup>2</sup>	
	建築時期	大正 12 年頃	
	構造と階数	木造 2階建て	
	用途	利活用前 店舗併用住宅	利活用後 放課後児童クラブ

6 提案内容

《テーマ》※提案書にも記載してください。

子育て・親子の時間・食育

《コンセプト》※提案書にも記載してください。

親子で食卓を

～共働きやひとり親世帯に親子で食卓を囲む時間と場の提供～

《内容》

【施設用途】放課後児童クラブ（学童）

【目的】

- ①放課後の家庭に代わる「生活の場」の提供・児童の支援
- ②親子で食事（夕食）を共にする時間と場の提供
  - ・共働きやひとり親の食事作りの時間を短縮、削減し、親子で顔を合わせて食事をする時間の創出
  - ・こどもがひとりで食事をする「孤食」の防止
- ③食べる喜び・楽しみづくり
  - ・家庭菜園を通して、育てる・収穫する・食べることを楽しむ。
  - ・他学年、他児童との交流を通して、「一緒に」活動することを楽しむ。
- ④自立心を育てる
  - ・「調理～後片付け」までを行い、「自分でできる」を経験する。
  - ・調理は児童の活動、食後の後片付けは保護者と共に行い、児童同士・親子の時間をそれぞれ確保する。

【活動内容】

- ・家庭菜園
- ・調理実習（夕食作り）
- ・親子で食事（施設内、または調理したものを持ち帰って自宅で）
- ・後片付け
- ・その他、学童活動

## 7 工夫した点

- 吹抜けを設けたことで、開放感と一体感のある空間とした。  
キッチンA,B,C、食卓A,B,Cでの賑わいが互いに感じられるように工夫した。
- 部屋を間仕切る建具は極力撤去することで視認性を確保した。
- 中庭のブロック塀を撤去し、代わりにアルミ格子とすることで安全性に配慮した。
- 既存の欄間や障子のデザインを活用し、町屋の趣を残した。
- 魚津市新川地区の間伐材を家具や天井・壁仕上げ材に使用し、木のぬくもりや香りがあふれる空間とした。

## 8 アピールポイント

- 親子で顔を合わせてゆっくり食事を楽しむことが難しい共働きやひとり親の家庭に親子揃って食卓につく時間と場所を提供できる。心のゆとりができ、親子の時間を楽しむことができる。
- (野菜を) 育てる、収穫する、調理する、(自分で) 食べる、おうちの方に食べてもらう、、、という一連の活動の中で、児童の自立心や「できた!」という喜びや自信を育てることができる。
- 仕上げ材や家具に地域の間伐材を使用したり、既存の建具デザインを活かすことで、地域の文化や産業に触れる機会となる。
- 定員超えが予想される既設児童クラブの新たな受入れ先となる。